

2013年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科						
科目名	初等信号理論						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)						
担当者	五反田 博 Hiromu GOTANDA、白土 浩 Hiroshi SIRATSUCHI						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Excelで基本的な数学関数の値を求めるとともに、その関数のグラフを描くことができる。(A1)</li> <li>・Excelを使って振幅や周波数、位相の異なる正弦波を描くことができる。(A1,A2)</li> <li>・グラフの平行移動や拡大縮小を数式と結びつけることができる。(A1,A2)</li> <li>・複素数の直交形式と極形式を自在に使いこなせる。(A1,A2)</li> <li>・オイラーの公式から三角関数の加法定理が導ける。(A1,A2)</li> <li>・単位円上の点の動きを正弦波と結びつけて周波数や位相を論じることができる。(A1,A2)</li> </ul>						
日程と内容	09月20日	概要説明・三角関数概論					
	09月27日	三角関数の基礎					
	10月04日	三角関数の合成					
	10月11日	極座標変換					
	10月18日	総合演習(1)					
	10月25日	オイラーの公式					
	11月08日	総合演習(2)・臨時試験					
	11月09日	Excelによるグラフ描画					
	11月15日	剰余を用いた乱数生成					
	11月22日	三角波の描画					
	11月29日	微分					
	12月06日	積分					
	12月13日	総合演習(3)・臨時試験					
	12月20日	総合演習(4)					
	01月10日	定期試験					
	01月21日	復習演習					
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験	30%	部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題						
	演習	10%	計			100%	
授業到達目標の達成度	概ね目標は達成できたと思う。						
反省点	本講義では、多くの演習を通し、自身の体験として初等信号理論および連続開講科目であるシミュレーションに関する知見を広げることを目的としているが、コンピュータを使った演習では学生ごとにPC操作等の実施速度が異なるため、講義内で歩調を揃えるのに苦慮した。予め、進度の速い学生向けに別途、進んだ課題などを準備しておく方が良かったように感じた。						
来年度の計画	今年度は試験的に各講義を連続開講する方式を採用している。集中的な講義と演習ができるため有効であったと考えるが、定期試験については先行科目のblankが大きくなるため、来期はこの点を改善したいと考える。						
授業評価アンケートに対するコメント	概ね良好な評価が得られていると思われる。						
履修登録者数	68名	定期試験受験者数	62名	合格者数	51名	合格率	82%